27．10．1　組織改編（防衛省改革）について

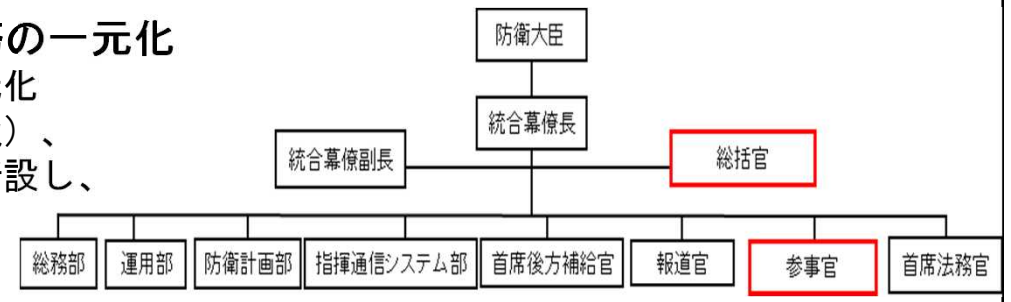
「防衛省改革の方向性」（２５年８月）に基づき、２６年度に引き続き、防衛力の全体最適化、統合運用、政策立案機能等の強化のため、以下の組織改編を実施

○統合運用機能の強化

■　統合幕僚監部への実際の部隊運用業務の一元化

- 自衛隊の実運用に関わる業務を統幕に一元化
- 運用企画局を廃止し、総括官（統幕副長級）、参事官（部課長級）を文官ポストとして新設し、関係省庁との調整・対外説明業務を担当

新しい統合幕僚監部

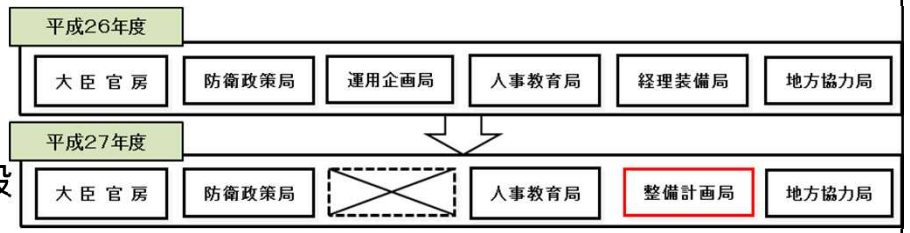


○内部部局の改編

■　政策立案機能及び防衛力整備機能を強化

- 運用に関する法律の企画・立案・部隊訓練機能等を防衛政策局へ移管（運用政策課、訓練課）
- 政策立案機能強化のため、防衛政策局に戦略企画課を新設
- 防衛力整備機能の強化のため、整備計画局を新設

改編後の内部部局

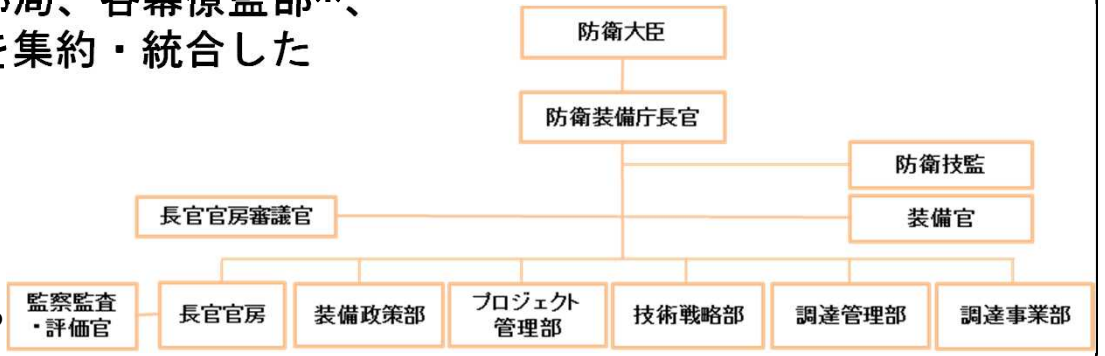


○防衛装備庁の新設

■　省内の装備取得関連部門（内部部局、各幕僚監部※、技術研究本部、装備施設本部）を集約・統合した外局を新設

■　主な機能

- プロジェクト管理機能
- 国際的な装備協力・武器技術管理機能
- 研究開発機能
- 装備品等の調達機能

※3幕の装備部及び技術部（陸幕は開発官）から一部を移管し、残りを装備計画部へ改編

防衛装備庁